

破壊用爆弾ノ効力其三

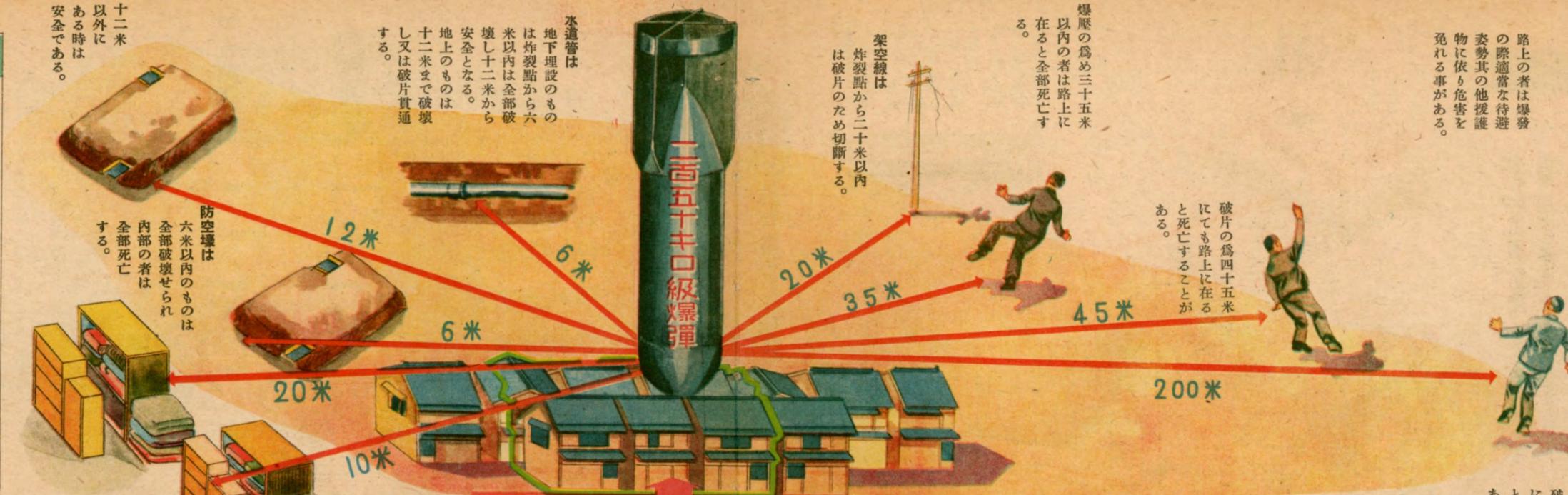
路上の者は爆發の際適當な待避姿勢其の他援護物に依り危害を免れる事がある。

爆壓の爲め三十五米以内の者は路上に在ると全部死亡する。

架空線は炸裂點から二十米以内は破片のため切斷する。

破片の爲め四十五米にても路上に在ると死亡することがある。

破片の爲め二百米にても路上に在ると死傷することがある。



本道管は地下埋設のものは炸裂點から六米以内は全部破壊し十二米から安全となる。地上のものは十二米まで破壊し又は破片貫通する。

十二米以外に在る時は安全である。

防空壕は六米以内のものは全部破壊せられ内部の者は全部死亡する。

木造家屋ノ命中彈ニ依ル被害

命中国家屋及び隣家五六軒を破壊し内部の者は死亡する。

室内待避所は地上に在る場合は十米内に有るものは全部破壊内部の者は死亡する。

二十米以外に在るときは安全である。地下に有る場合は構造その他により異なるも防空壕とほぼ同様安全である。

備考

爆彈の効力は信管の種類、延期の程度、構築物の構造、周囲の條件によつて甚だしく差異を生ずるものである。本圖解はその概要を示したものである。

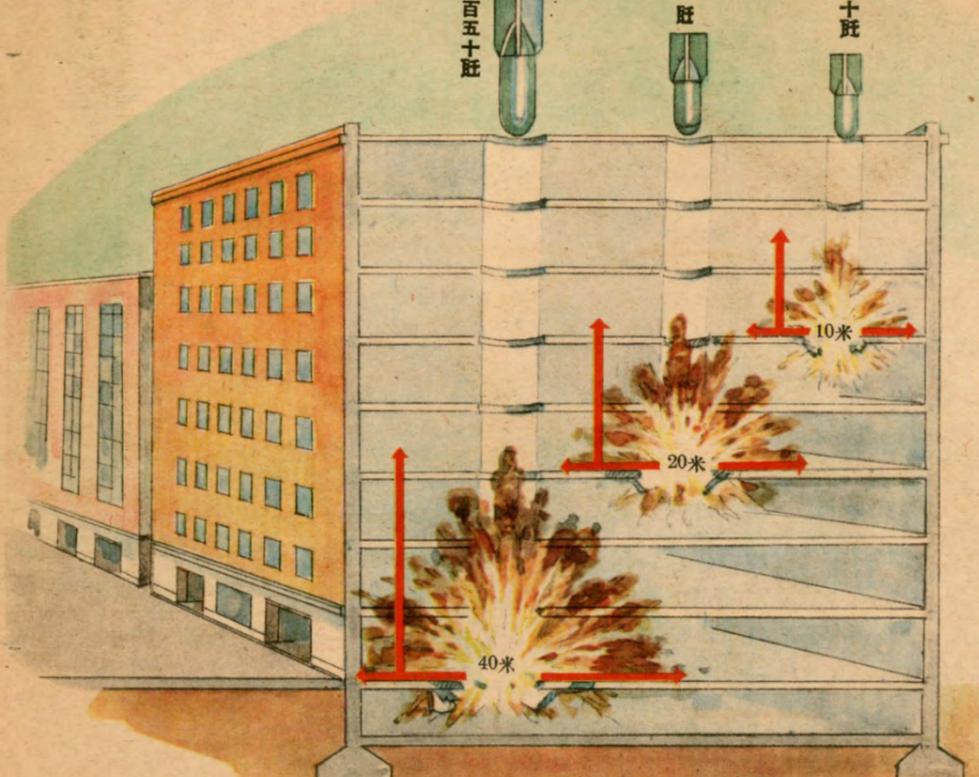
破壊用爆弾ノ効力其四

五十疋 天井一層乃至三層を貫通して爆發し爆發せる室の上下四週約五米以内を破壊し隣室の者をも死亡せしむる。

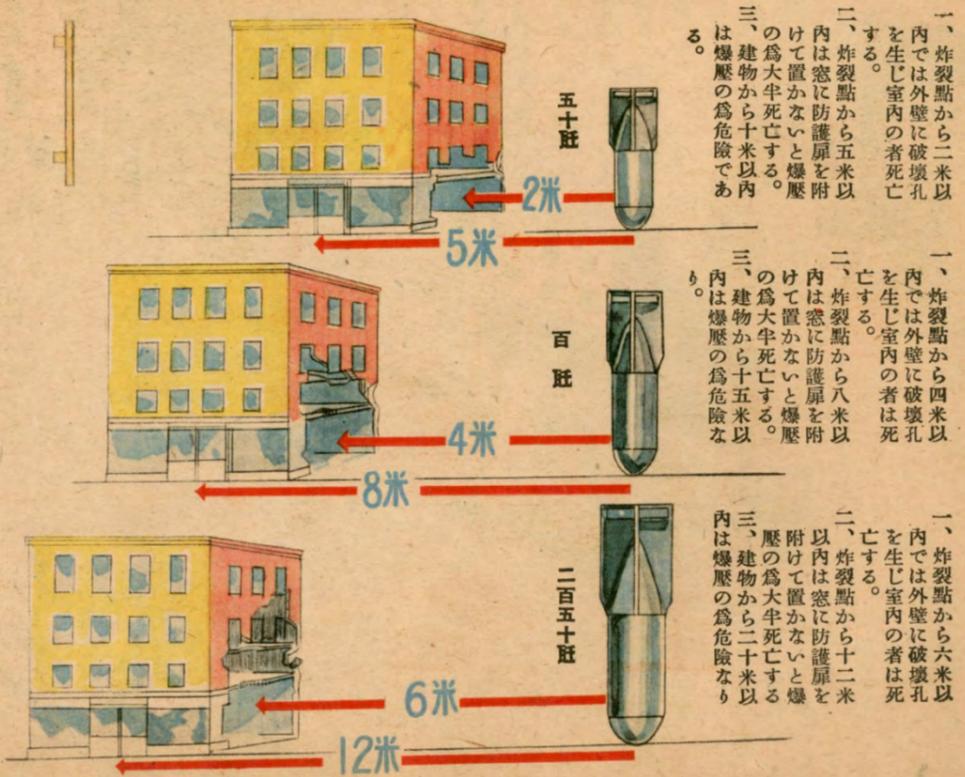
百疋 天井一層乃至五層を貫通して爆發せる室の上下四週約五米以内を破壊し隣室の者をも死亡せしむる。

二百五十疋 天井一層乃至八層を貫通して爆發し爆發せる室の上下四週約二十米以内を破壊し隣室の者をも死亡せしむる。

リート建物



鐵筋コンク



一、炸裂點から二米以内では外壁に破壊孔を生じ室内の者は死亡する。
二、炸裂點から五米以内は窓に防護屏を附けて置かないと爆壓の爲大半死亡する。
三、建物から十米以内は爆壓の爲危険である。

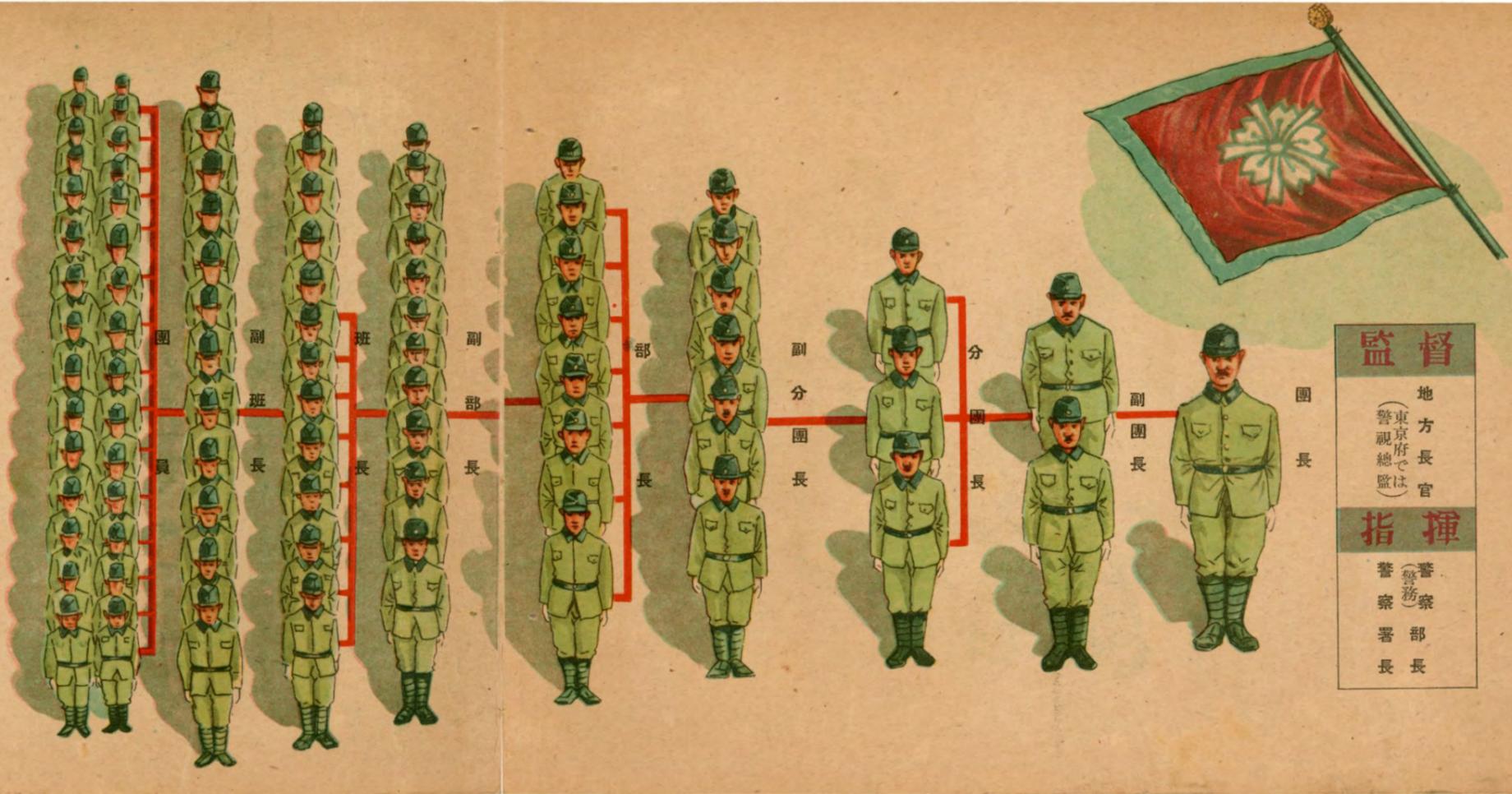
一、炸裂點から四米以内では外壁に破壊孔を生じ室内の者は死亡する。
二、炸裂點から八米以内は窓に防護屏を附けて置かないと爆壓の爲大半死亡する。
三、建物から十五米以内は爆壓の爲危険である。

一、炸裂點から六米以内では外壁に破壊孔を生じ室内の者は死亡する。
二、炸裂點から十二米以内は窓に防護屏を附けて置かないと爆壓の爲大半死亡する。
三、建物から二十米以内は爆壓の爲危険である。

防護屏は厚板又は鐵板。



警防団ノ業務其ノ二



警防団ノ組織



警防団ノ業務(其ノ二)